

科目名			産業保健経営学演習		
科目責任者		森 晃爾	(産業保健経営学 教授)		
担当者		永田 智久	(産業保健経営学 准教授)		
開講時期:		2年次	単位数:		4 単位
			時間数:		90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産業保健活動を経営文脈でとらえ、産業保健活動における意思決定、活動管理、経営層とのコミュニケーションなどの産業保健経営学の諸要素を事例分析を通して理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 組織構築・管理手法に産業保健活動での応用法について議論できる。 2) 労働安全衛生マネジメントシステムを用いた産業保健活動の展開手法について議論できる。 3) 健康経営の推進体制の構築と効果的な推進について議論できる。 4) 産業保健プログラムへのマーケティング手法の応用について議論できる。 5) 事業場における産業保健活動のコスト・効果分析について議論できる。 					
● 評価方法		演習参加状況50%、発表50%等で総合評価する。			
● 参考文献		成果の上がる健康経営の進め方(労働調査会)、産業保健担当者のための経営学入門(労働調査会)、産業保健スタッフのためのISO45001(中央労働災害防止協会)、健康会計入門(法研)			

● 授業内容

回	内容	担当教員
奇数回	主にマネジメントシステムおよび費用対効果分析について、学習課題を含むケースによるケースメソッド教授法を用いた研修、テーブルトップドリルによる実践的研修などを基本とする。	森
偶数回	主に健康経営の体制づくり、リーダーシップサポート、戦略マップの作成、無形資源の評価について、学習課題を含むケースによるケースメソッド教授法を用いた研修、日常の題材を用いた実践による研修を行う。	永田